08 逆接

それぞれの文をどうつなぐかに神経をとがらせてくださ い。ここでは「逆接」。先行する内容に反する内容を 「しかし・でも」と続ける。それが逆接です。



153

but **B** (だが・しかし)

[bət]

逆接の代表。最も頻度の高いのはこの but。注意する点は特にありません。気楽 に使ってくださいね。

- (a) Many people enjoy festivals, but I don't. 多くの人たちはフェスティバルを楽しむけど、私は違います。
- (b) She wants to buy a house but doesn't have the money. 彼女は家を買いたいのだが、お金がない。

however (しかしながら・けれども)

[hauévər]

but よりもやや硬い印象をもつ表現です。

(a) You may think teaching is easy. However, it is in fact quite difficult.

あなたは教えることが簡単だと思うかもしれない。けれど実際はかなり難しいことなのです。

(b) I don't really like this book. You, however, may find it interesting.

私はあまりこの本が好きではありません。でもあなたは、おもしろく読めるかもしれません。

さて、お気づきになりましたね。butと似た意味をもつこの単語は、接続詞では なく、but のように2文を直接つなげることはできません。A × however B とは ならないのです。前の文をしっかり終えてから、However ... と新しい文を始めま しょう。また (b) のようにコントラストを示したいフレーズの直後に置くのもいい アイデアですよ。



yet **B** (しかし・けれども)

yet は、副詞としては「まだ」などと訳される単語でしたね。この単語のイメージ は「未完」。「話はまだ終わりじゃないよ」ということです。

He never went to college, yet he became CEO of a big company.

彼は大学には行かなかったが、大企業の CEO となった。

(注:CEO:chief executive officerの略。アメリカ型企業の最高責任者)

「大学に行かなかった」で話は終わりではなく…,ということ。yet のあとには意 外性のある内容が展開します。